



ユーザ エージェントの設定

ユーザ エージェントの設定のウィンドウを使用すると、クライアント ユーザ エージェントごとにリーチャビリティ バージョンを設定できます。リーチャビリティ バージョンを設定すると、Cisco Unified Personal Communicator の旧バージョンとの下位互換性を提供できます。デフォルトでは、特別に設定されていないすべてのユーザ エージェントはリーチャビリティ バージョン 2 を使用し、この値は RFC 4479 に準拠しています。

ユーザ エージェントの検索

Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のユーザ エージェントを検索できます。特定のユーザ エージェントを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザ セッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索 / 一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence] > [プレゼンスエンジン] > [ユーザ - エージェント設定] の順に選択します。

[ユーザ - エージェントの検索と一覧表示 (Find and List User-Agent)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- ドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.10-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ユーザエージェントの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースでユーザエージェントを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- ユーザエージェントを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [プレゼンスエンジン] > [ユーザ - エージェント設定] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- ユーザエージェントを更新するには、P.10-1 の「ユーザエージェントの検索」の手順に従ってユーザエージェントを検索します。

[ユーザ - エージェントの設定 (User-Agent Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 10-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

追加情報

P.10-5 の「関連項目」を参照してください。

ユーザエージェントの設定値

表 10-1 で、ユーザエージェントの設定値について説明します。関連する手順については、P.10-5 の「関連項目」を参照してください。

表 10-1 ユーザエージェントの設定値

フィールド	説明
クライアントユーザ - エージェントバージョン (Client User-Agent Version)	このパラメータは、クライアントユーザエージェントのヘッダーを指定します。 最大文字数：255
リーチャビリティバージョン (Reachability Version)	このパラメータは、クライアントがプレゼンスドキュメントで使用するリーチャビリティバージョンを次のとおり指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 - draft-ietf-simple-simple-rpid-07 • 2 - RFC 4479

ユーザ エージェントの削除

この項では、ユーザ エージェントの削除方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.10-1 の「[ユーザ エージェントの検索](#)」の手順に従いユーザ エージェントを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するユーザ エージェントを選択します。
- ステップ 3** ユーザ エージェントを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします)。

ユーザ エージェントが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。ユーザ エージェントが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.10-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ユーザ エージェントのコピー

この項では、ユーザ エージェントをコピーする方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.10-1 の「[ユーザ エージェントの検索](#)」の手順に従いユーザ エージェントを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストからコピーするユーザ エージェントを選択します。
- ステップ 3** ユーザ エージェントをコピーするには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [コピー] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [コピー] ボタンをクリックします)。

[ユーザ - エージェントの設定 (User-Agent Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 4** [表 10-1](#) の説明に従って適切な設定を入力します。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
-

追加情報

P.10-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [ユーザエージェントの検索 \(P.10-1\)](#)
- [ユーザエージェントの設定 \(P.10-3\)](#)
- [ユーザエージェントの削除 \(P.10-4\)](#)

